

事務事業実績測定調書

R4調書番号 446

事務事業名称	学校図書館支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	学校図書館法、学習指導要領				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内小中学校に在籍する児童・生徒			
	サブターゲット	市内小中学校図書館を活用して児童・生徒の読書活動および学習活動の指導をする教職員			
	ターゲットが抱える課題	児童・生徒の読書離れが進んでおり、読書活動を推進して学力向上につなげていく必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	児童・生徒が身近に読書に親しむことが可能な学校図書館として十分に活用されていない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全小中学校に学校司書を配置して学校図書館の機能の充実および活用を促進させることで、児童・生徒の読書活動をより一層推進し、言語能力及び情報活用能力を育成する。このことにより、子どもたちが生涯にわたり学び生きる力を育む教育環境を提供する。				
事業概要	学校図書館の充実と市立図書館蔵書の効果的な活用を図ることで、子どもの読書活動を推進し、自ら学び考える力の育成を支援することを目的に、学校教育部(教育指導課)の事業計画「読書活動推進事業」と連携し、中央図書館から配置した学校司書への人的・技術的支援を行うとともに、市内小中学校の学校図書館における児童・生徒への読書環境の整備及び読書活動の支援や調べ学習などの授業支援などの取り組みを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		小学校図書館の利用が向上し、児童の読書活動が推進される。				全小学校に読書活動・学習活動の支援が広がる。				学校司書配置を小学校へ拡大する。			
指標設定	指標説明	市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数				枚方市立図書館の調べ学習等団体貸出を利用した小学校数				学校司書が配置された小学校数			
		単位		冊		単位		校		単位		校	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		23	24	26	28	35	36	38	40	10	8	16	11
	実績	22	24	22		38	38	40		0	12	8	
	達成度	85%				105%				50%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.97
再任用	0.60
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	34,127	28,733	21,835		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	34,127	28,733	21,835		
	物件費計	10,394	11,224	11,093	11,379	97.5%
歳出計		44,521	39,957	32,928		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		10,394	11,224	11,093	11,379	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> 全19中学校に加え、小学校20校に学校司書25人を配置した。(内、小中2校兼務8人、小学校2校兼務6人) 全小学校の児童一人当たりの年間貸出冊数は、前年度と比べると1.7冊減であった。令和4年9月、学校図書館システム更新作業に伴う貸出停止の影響を受けたことが一因と考えられる。 児童一人当たりの年間貸出冊数を学校司書配置校と未配置校で比較すると、配置校が2.37冊多かった。また、配置校の拡大により、調べ学習等団体貸出を利用した小学校が増えた。学校司書配置により学校図書館の利用が活性化したと見られる。 調べ学習等団体貸出の利用件数は小中学校合計507件で、前年度と比べて1.1倍増であった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 学校司書への支援を通して、学校図書館の充実を図り、授業への活用や子どもの読書活動推進につなげる。 学校図書館システムの維持管理・サポートを適切に行なう。 市立図書館蔵書を活用して、市内小中学校の学校図書館との連携を図り、児童生徒の読書活動の推進と学習活動の充実を支援する。 学校教育部と連携して、小学校へのさらなる学校司書配置に向けて取り組む。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 475

事務事業名称	コンピュータシステム運営事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1996(H8)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	貸出・返却にはじまる様々な図書館サービスをスムーズに行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	レファレンス(調査業務)をするために、窓口へ来るのに不便が生じている。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	システムを安定的に運用することで、図書館利用者がスムーズな利用ができ、市民からのレファレンスに対しても適切な対応ができていく状態。				
事業概要	図書館サービスを効率的効果的に提供するため、図書館コンピュータシステムを安定的に運用することを目的に、図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。また、図書発注の作業のために既に導入しているRPAを範囲を広げて維持し、発注業務の一部を短縮することで、図書の納品を早めることができるほか、職員が選書業務等に時間を割り当てることができ、市民サービスの向上に繋がる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		図書館利用者が蔵書検索をはじめとするサービスをスムーズに受けられることができる。				図書館コンピュータシステムが安定的に稼働する。				図書館コンピュータシステムの運用に必要な保守点検や改修等を行う。			
指標設定	指標説明	図書館HPアクセス数				システムが安定的に稼働した日数				サーバ室日常点検(室温確認・UPS点検)日数			
		単位		アクセス		単位		日		単位		日	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	1,622,000	1,622,000	1,622,000	1,622,000	365	365	365	366	365	365	365	366
実績	1,227,758	1,468,970	670,265		365	365	349		358	359	358		
達成度	41%				96%				98%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.71
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,153	6,700	5,547		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,153	6,700	5,547		
	物件費計	26,783	26,062	27,966	28,542	98.0%
	歳出計	28,936	32,762	33,513		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	26,783	26,062	27,966	28,542	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> 公共図書館システムを引き続き適切に運用した。 図書館システムの更新に伴い、図書館HPのアクセス数統計は令和4年9月までの数値となっている。 令和5年度に実施予定の分館・分室の端末更新に係る準備を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に実施する分館・分室の端末更新について、円滑に進めるため準備を進める。 利用者が図書館インターネットサービスをスムーズに利用できるよう、公共図書館システムを適切に運営する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 476

事務事業名称	各図書館及び分室施設維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1973(S48)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	安全性や衛生面の観点から施設の経年劣化等に対して、改善を施す必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	施設及び設備を適切に維持管理することで、利用者が安全かつ快適に図書館を利用できる状態。				
事業概要	図書館及び分室の利用者に快適な利用環境を提供する目的で、図書館および分室の清掃業務、空調機器等の維持管理および修繕等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						図書館及び分室が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。				
指標設定	指標説明					修繕料、工請費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				修繕件数(保全計画に基づく)				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					100	100	100	100	10	7	7	7
	達成度					94%				86%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.78
再任用	0.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,153	6,700	7,856		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,153	6,700	7,856		
	物件費計	112,320	75,014	160,942	176,375	91.2%
	歳出計	114,473	81,714	168,798		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	6,000	0	78,700	90,700	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	6,000	0	78,700	90,700	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	106,320	75,014	82,242	85,675	

5. 総括的分析

総括的分析	市有建築物保全計画に基づき、楠葉生涯学習市民センター・図書館外壁改修工事、菅原生涯学習市民センター・図書館陶芸棟給水設備更新工事、菅原生涯学習市民センター・図書館消火設備改修工事、中央図書館外壁改修工事、中央図書館消火設備改修工事、中央図書館給水設備更新工事を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市有建築物保全計画に基づき、牧野生涯学習市民センター・図書館給水設備改修工事、津田生涯学習市民センター・図書館空調設備改修工事及び給水衛生設備改修工事、菅原生涯学習市民センター・図書館受変電設備更新工事及び昇降機設備更新工事を予定。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 477

事務事業名称	自動車文庫運営事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1973(S48)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の自動車文庫利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	最寄りの地域に図書館及び分室等が設置されておらず、図書館サービスを利用しにくい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自動車文庫の運営によって、地域間で生じる不便が解消し、市内全域できめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。				
事業概要	図書館及び分室を利用することが不便な地域の市民に対して、自動車文庫により図書館サービスを提供することを目的に、市内のステーションを巡回し、図書館資料の貸出・返却・予約受付の業務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	ロジックモデル	市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				主に市内のステーション近辺の住民が、自動車文庫を利用する。				自動車文庫により市内のステーションを巡回して図書館サービスを提供する。			
指標設定	指標説明	自動車文庫の貸出冊数(個人・団体)				自動車文庫の延べ利用者数				巡回するステーション数			
		単位 冊				単位 人				単位 ステーション			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	44,469	44,469	44,469	44,469	9,878	9,878	9,878	9,878	22	22	22	22
達成度	120%				166%				123%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.04
再任用	0.54
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	1.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	26,165	17,165	14,267		
	会計年度任用職員	1,929	1,979	4,014		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	28,094	19,144	18,281		
物件費計	226	277	149	136	109.6%	
歳出計	28,320	19,421	18,430			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	226	277	149	136		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>(自動車文庫) 出動日数(2台合計):585日 貸出冊数(個人):49,914冊 予約受付件数(個人):6,403件 延べ利用者数:16,361人</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響が少なくなったことにより、延べ利用者数、貸出冊数が増え、当初の目標を上回ることができたと考える。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・全域サービス実施のために、固定施設の利用が難しい地域や市民に図書館利用機会を提供する。 ・機動力を生かして図書館利用の便利さをPRする等の取り組みを実施しながら、最適な役割分担と配置の検討を進める。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 478

事務事業名称	障害者利用促進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1982(S57)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・視覚障害者等(視覚障害者、肢体不自由者、寝たきりの人、学習障害者等)・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	障害の有無によって利用できない図書館サービスが生じてしまう。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	録音・点字資料の貸出や、対面読書、おはなし会など利用者の障害に対応したサービスが提供されることで、利用者が障害の有無にかかわらず、図書館サービスが広く利用される状態。				
事業概要	障害のある利用者等の読書環境を整備するとともに、音訳協力者等の養成を行い、障害者等の利用促進を図ることを目的として、録音・点字資料の貸出、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行うとともに音訳協力者の養成を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		利用者の障害の有無にかかわらず、読書活動に親しむことにつながる。				障害を有する利用者が図書館に来館し、対応したサービスを受けることができる。				録音・点字資料の貸出、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行う。			
指標設定	指標説明	障害を有する利用登録者数				点字・録音図書貸出タイトル数				点字・録音図書所蔵数			
		単位		人		単位		タイトル		単位		タイトル	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	118	118	118	118	5,200	5,200	5,200	5,200	6,800	6,800	6,800	6,800
達成度	106%				56%				100%				
ロジックモデル②		利用者の障害の有無にかかわらず、読書活動に親しむことにつながる。				視覚障害者等がデージー再生機器を利用する				録音図書利用促進事業を実施する			
指標設定②	指標説明	障害を有する利用登録者数				視覚障害者等の利用人数				視覚障害者等の利用回数			
		単位		人		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	118	118	118	118		14	14	14		14	14	14
達成度	106%				100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	3.37
再任用	0.00
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	0.73
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	22,296	29,958	29,750		
	会計年度任用職員	1,929	1,658	1,832		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	24,225	31,616	31,582		
	物件費計	880	1,019	936	1,318	71.0%
	歳出計	25,105	32,635	32,518		
歳入	国庫支出金	233	324	418	490	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	233	324	418	490	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	647	695	518	828	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者等に対する録音資料の貸出(2,803タイトル)、点字資料の貸出(86冊)、対面読書(111回)を実施した。 ・点字、録音図書製作・貸出や対面読書を実施した。新型コロナウイルスの影響を受ける中で、Zoomでの対面読書の遠隔実施も行った。 ・音訳協力者の養成のために、音訳協力者連絡会や音訳講習会(スキルアップ)を実施した。 ・「手話で楽しむおはなし会」「手話ブックトーク」「バリアフリー映画上映会」「学習障害講演会」を開催した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	これまで通り、読書バリアフリー法を踏まえ、障害者に対する読書支援を継続しサービスの充実に努める。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 479

事務事業名称	図書館資料購入事務												
測定年度	2022(R4)年度				部	総合教育部				課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1973(S48)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民が求めている新しい図書・資料との出会いが困難となる。			
	ターゲットが抱える課題	正確で新しい情報を知る機会を求められている。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	蔵書バランスや市民のニーズ等を踏まえ、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入し、図書館サービスの充実が図られた状態。				
事業概要	基本的な蔵書構成を維持し、かつ市民の多様なニーズに応えるため、娯楽のための雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広くかつ効率的に資料を購入し、図書館サービスの充実を図ることを目的として、入門書から専門書に至る難易度ごとの蔵書バランスを意識した資料及び教養を高める資料や市民のニーズ等を踏まえた、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		新しい蔵書を求めて、市民が来館することで、継続的な読書活動が推進される。				購入資料は図書館資料として整備・配架され、市民の利用に供する。				雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広く資料を購入する。			
指標設定	指標説明	市民一人あたりの貸出冊数				配架された図書館資料数				図書館資料の購入冊数			
		単位 冊				単位 冊				単位 冊			
	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	8.70	8.70	9	10	36,000	36,000	56,000	56,000	36,000	36,000	56,000	56,000
達成度	7	9.69	10		59,934	42,548	57,453		45,026	29,456	43,508		

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	3.48
再任用	1.46
任期付職員	10.13
会計年度任用職員	1.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	54,955	48,180	77,893		
	会計年度任用職員	0	0	4,014		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	54,955	48,180	81,907		
物件費計	69,946	58,017	77,976	78,000	100.0%	
歳出計	124,901	106,197	159,883			
歳入	国庫支出金	0	0	1,550	15,500	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	1,000	1,000	1,000	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2,926	2,946	3,668	3,646	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,926	3,946	6,218	20,146	
一般財源（物件費に充当されるもの）	67,020	54,071	71,758	57,854		

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視しながら情報の更新や資料の買い直しを強化し、資料の計画的な収集を実施した。 図書館の蔵書となる図書を児童書349,112冊、一般書858,443冊、合計1,207,555冊とした。 メンテナンス予算を市民との距離が近い分館・分室に重点的に配分したことにより、分館・分室・自動車文庫の利用が増大し、それに伴い市民一人あたりの貸出冊数も増加した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	「枚方市立図書館蔵書計画」に基づき、選書した図書を計画的に購入する。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 480

事務事業名称	図書館分館運営事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1979(S54)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	気軽に立ち寄れる最寄りの地域に中央図書館がない市民が、図書館サービスを利用しにくい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域の拠点として他の図書館施設と連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けられることができる状態。				
事業概要	香里ヶ丘図書館の建替え、及び7分館への指定管理者制度の導入が完了したため、さらに効果的・効率的な図書館分館運営を行うことを目的とし、地域の図書館サービスの拠点として、中央図書館、図書館分室、また、他の分館と連携を図りながら、図書館資料の貸出や予約の受付、レファレンスサービス(利用者が調べたい内容に対し、適切な図書館資料や情報等を提供して調査支援を行うサービス)、各種行事等の充実した図書館サービスの提供を行っていく。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				近隣住民が主に図書館分館を利用する。				地域拠点として図書館サービスを提供する。			
指標設定	指標説明	分館の貸出数				分館の来館者数合計				分館数			
		単位		冊	単位		人	単位		館			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	2,044,908	2,044,908	2,044,908	2,044,908	1,293,153	1,293,153	1,293,153	1,293,153	7	7	7	7
実績	1,743,806	2,586,621	2,573,317		921,113	1,293,827	1,348,490		7	7	7		
達成度	126%				104%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.78
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,798	6,700	6,093		
	会計年度任用職員	338	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,136	6,700	6,093		
物件費計	77,133	359,930	368,149	370,627	99.3%	
歳出計	85,269	366,630	374,242			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	52	144	161	72	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	52	144	161	72	
一般財源（物件費に充当されるもの）	77,081	359,786	367,988	370,555		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>(分館合計) 年間開館日数:2,324日 貸出冊数:2,573,317冊 予約受付件数(個人):589,916件 延べ利用者数:1,272,816人</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染状況が収まりつつあり、引き続き感染対策に努めながらも、通常の図書館サービスに戻りつつあった。一方で、9月に図書館システムの更新に係る全館臨時休館で利用への影響を受けた。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	図書館サービスにおける地域の拠点として、図書館資料の貸出、レファレンスサービス等を引き続き提供する。

事務事業実績測定調査

R4調査番号 481

事務事業名称	図書館分室運営事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1973(S48)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	中央図書館や分館が気軽に立ち寄れる最寄りの地域にない市民は図書館サービスを利用しにくい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域の拠点として他の図書館施設と連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けられることができる状態。				
事業概要	分館の利用が困難だが比較的人口が集中している地域に設置し、中央図書館および分館と連携しながら、図書館資料の貸出や読書支援等の図書館サービスを提供することを目的として、図書館資料の貸出や予約の受付、各種行事等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				近隣住民が主に図書館分室を利用する。				地域拠点として図書館サービスを提供する。			
指標設定	指標説明	分室の貸出冊数				分室の来館者数合計				分室数			
		単位		冊	単位		人	単位		室			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	527,116	527,116	527,116	527,116	205,624	205,624	205,624	205,624	10	10	10	10
達成度	86%				66%				70%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.08
再任用	0.27
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	101,918	81,566	13,220		
	会計年度任用職員	10,852	9,572	753		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	112,770	91,138	13,973		
	物件費計	12,822	3,038	3,044	2,594	117.3%
歳出計	125,592	94,176	17,017			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	12,822	3,038	3,044	2,594		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>(分室合計) ※市駅前サービススポットを含む 年間開館日数:1,560日 貸出冊数:453,723冊 予約リクエスト受付件数(個人):161,368件 延べ利用者数:233,070人</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響が少なくなったこと、令和4年度の図書費の増額により蔵書の更新が進んだことで来館者数、貸出冊数が前年度と比較して増加した。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	利用状況、施設状況、効率的な人員配置の検討を進め、効果的な図書館利用促進と市民の満足を図る。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 482

事務事業名称	中央図書館運営事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005(H17)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職の利用者 ・その他図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内図書館・分室における図書館運営及び図書館サービスの統括が必要。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市立図書館の核として、他の図書館施設を統轄するとともに、連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。				
事業概要	枚方市立図書館の核として図書館運営に係る企画立案、貸出サービス、読書活動の推進、関連機関との連携等の中心となり図書館サービスを提供することを目的として、幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				市民が中央図書館を利用する。				枚方市立図書館の核として幅広い図書館サービスを提供する。			
指標設定	指標説明	中央図書館の貸出冊数				中央図書館の来館者数				中央図書館での事業実施回数			
		単位 冊				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	892,503	892,503	892,503	892,503	491,092	491,092	491,092	491,092	17	41	41	41
実績	499,053	764,594	739,100		236,394	351,482	343,270		21	145	184		
達成度	83%				70%				449%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	7.94
再任用	3.38
任期付職員	17.60
会計年度任用職員	7.24
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	158,936	140,824	154,374		
	会計年度任用職員	12,202	15,804	18,165		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	171,138	156,628	172,539		
物件費計	21,800	22,838	25,176	25,677	98.0%	
歳出計	192,938	179,466	197,715			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	823	282	635	512	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	823	282	635	512	
一般財源（物件費に充当されるもの）	20,977	22,556	24,541	25,165		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>年間開館日数:282日 貸出冊数(個人):739,100冊 予約受付件数(個人):62,540件 延利用者数:296,193人</p> <p>図書館システムのリプレースによる長期休館の影響のため、貸出冊数、来館者数とも目標に届かなかった。実施事業については、感染予防対策を講じ、積極的に実施したことで目標回数を上回った。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き市内図書館ネットワークの拠点として図書館サービスを提供する。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類になったことから、利用者の増加が見込めるような取り組みを検討・実施していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	分館・分室巡回業務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・枚方市内在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	巡回がなくなると、市民の求める資料を最寄りの各図書館サービスポイントで受け取れなくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が希望する最寄りの各図書館サービスポイントで貸出・返却が可能になる。				
事業概要	各図書館・分室が所蔵している図書館資料について、他の図書館・分室で貸出・返却が行えるよう図書館資料の巡回運搬を実施し、市民の利便性の向上を図ることを目的として、各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		最寄りの各図書館サービスポイントで求める資料を借りることができる。				図書館や分室間での所蔵資料の相互貸借が可能となる。				図書館資料の巡回運搬を実施する。			
指標設定	指標説明	インターネットによる事前予約件数				図書館サービスポイント間の巡回回数 (分館巡回回数+分室巡回回数)				巡回するサービスポイント数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	141%				101%				83%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.77
再任用	0.61
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,356	14,479	20,323		
	会計年度任用職員	0	0	502		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,356	14,479	20,825		
物件費計	14,122	13,007	12,884	13,165	97.9%	
歳出計	15,478	27,486	33,709			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	14,122	13,007	12,884	13,165		

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響が少なくなり、予約数が増加した。 図書館業務に必要な不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努めた。 中央図書館と各図書館分館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により計画通りに実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き図書館業務に必要な不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 484

事務事業名称	子どもに本を届ける事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市基金条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内在住・在学の子ども			
	サブターゲット	寄附希望者			
	ターゲットが抱える課題	子どもたちにはより多くの本との出会いが必要。			
	ターゲットが抱える課題	寄附したくなる魅力の創出。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学校・保育所(園)・幼稚園や図書館などを利用する子どもたちがよりたくさんの本と出会うことができる。				
事業概要	子どもがたくさんの本と出会うことができるように、基金を積み立て、その基金を使って絵本や児童書を購入する。以下の方法で基金を積み立てる。1.ふるさと寄附金による基金の積み立て。2.市民からいただいた寄贈図書のうち、図書館資料として活用しなかった図書については売却し、その売却益を基金に積み立てる。積み立てた基金で絵本や児童書を購入し、学校や保育所(園)、幼稚園、地域の子育て団体に届ける。また、購入した児童書を、授業での調べ学習や読み聞かせ、朝読書、朗読会等で活用する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	購入図書を学校や保育所、幼稚園等に届ける。	基金を活用して絵本や児童書を購入する。				ふるさと寄附金や売却益を基金に積み立てる。						
指標説明	学校や保育所・幼稚園等への団体貸出冊数				基金による児童書購入冊数 (基金執行予定額÷1冊当たりの児童書購入平均額(令和3年度時点直近3年間の平均額:1,550円(税込み))				基金積立額			
	単位		冊		単位		冊		単位		円	
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	92,345	73,713	75,924	78,201	4,160	2,100	2,100	2,100	3,406,000	3,256,000	3,256,000	3,256,000
実績	47,836	53,600	59,453		2,639	1,028	948		3,448,444	3,265,253	9,631,398	
達成度	78%				45%				296%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.97
再任用	0.65
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,552	9,337	14,274		
	会計年度任用職員	0	0	251		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,552	9,337	14,525		
物件費計	7,935	6,265	12,587	12,503	100.7%	
歳出計	10,487	15,602	27,112			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	7,935	6,265	12,587	12,503	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	7,935	6,265	12,587	12,503	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	積立金額 9,631,398円 うち指定寄附金分 9,615,495円 うち古紙売却益分 15,842円 うち利子収入 61円 積立金のうち3,000,000円を子どもに本を届ける事業へ充当し、子ども読書活動推進のための団体貸出等用の児童書として748冊購入した他、同時に複数人が閲覧できる児童書の電子図書(読み放題パック)を200タイトル購入した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・事業について、さらに広範囲かつ積極的にPRを行う。 ・学校など現場が求めている本の把握と、適切な蔵書を購入する。 ・電子図書館の利用の多い児童向けの電子書籍の充実を図る。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 510

事務事業名称	電子図書館運営事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2021(R3)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	-				
関係補助金名称	-		サンセット	-	～
関係附属機関名称	-				
事業対象	メインターゲット	図書館利用者、身体障害者や高齢者等の来館が難しい方			
	サブターゲット	視覚障害者や学習障害者等			
	ターゲットが抱える課題	図書館に来館しないとサービスを受け取れない。			
	ターゲットが抱える課題	活字での読書が困難であることにより、情報にアクセスしにくい。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館がやむをえず休館した場合でも、図書館利用者が継続してサービスを受けられること。 来館が難しく、図書館を利用できていなかった方がサービスを受けられること。 視覚障害者等の活字での読書が困難な方に、アクセシブルな形態でのサービスを提供すること。 				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 電子図書館システムの導入により、コロナ禍以後の生活様式に対応した非来館型サービスを提供する。 読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。 市内全児童・生徒に貸与されたタブレットにより、電子書籍を活用した学校教育の支援を行う。 令和3年度については、約6,000タイトルを所蔵予定だが、新型コロナウイルス感染症の第6波が近付く中で、コロナ禍における市民ニーズに対応するため、追加で電子書籍約500タイトルを購入する。財源については、地方創生臨時交付金を充当予定。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		来館が難しい方でも電子書籍を借りることで図書館サービスを受けることができる。				電子書籍を実際に貸出し、非接触型・非来館型サービスを提供する。				電子図書館システムを導入し、電子書籍の提供を開始する。			
指標設定	指標説明	利用者満足度 電子書籍利用者へのwebアンケート				電子書籍貸出冊数				電子書籍の蔵書タイトル数			
		単位 %				単位 冊				単位 タイトル			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	—	80	80	80	—	6,500	7,000	7,500	—	6,500	7,000	7,500
実績	—	70	49		—	17,860	31,823		—	6,795	10,054		
達成度	61%				455%				144%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.78
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	6,700	6,093		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	6,700	6,093		
物件費計	—	27,302	16,554	16,556	100.0%	
歳出計	—	34,002	22,647			
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	—	27,302	16,554	16,556		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、いつでも利用できる電子図書館を導入したが、アンケート調査において、「やや不満」「不満」との回答理由として、「読みたい本がない」との回答が87%を占めた。令和4年度末には地方創生臨時交付金を活用し、蔵書の積み上げを行ったが、中核市水準の19,000冊には及んでおらず、蔵書の充実が課題である。また、「電子図書館を知らない」との回答が54%と半数以上であり、認知度を高める取り組みも課題である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	施設型図書館に来館しなくても読書や調べものなどに活用できる電子図書館に対するニーズが高まることが予想されるため、それに対応できるよう交付金を活用するなどし、電子書籍の追加購入や、電子図書館の周知を図りながら、蔵書の充実を図る。また、子どもの利用が多いことから、アクセス人数の制限のない児童書の「読み放題パック」を継続購入するなどし、電子図書館の利用促進に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 906

事務事業名称	図書館運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的	区分	庶務的
事業期間	1973(S48)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	図書館業務に携わる職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	図書館業務を適正かつ効率的に執行し、図書館サービスの向上を図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> 適正かつ効率的な図書館所管事務の執行 図書館サービスの向上 				
事業概要	課の運営事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.88
再任用	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	26,798	7,538	8,385		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	26,798	7,538	8,385		
物件費計	4,105	2,061	4,013	1,446	277.5%	
歳出計	30,903	9,599	12,398			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	4,105	2,061	4,013	1,446		

5. 総括的分析

総括的分析	図書館及び分室の運営管理事務等を適切に実施した。
-------	--------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き効果的・効率的な事務執行に努める。